

エアコン内部洗浄の事故

事故の概要

【事例①】

異音がしたため確認すると、エアコンとその周辺を焼損する火災が発生していた。

【事例②】

エアコンから発火し、リビング・ダイニングを焼損する火災が発生した。

事故の原因

【事例①】

使用者は、洗浄スプレーを使ってエアコン内部の洗浄を自ら行っていました。

【事例②】

エアコンの洗浄事業者は、液体が染み込みやすいハンドタオルでエアコンの電気部品の養生をしていました。



エアコン洗浄剤による事故の再現実験

エアコン洗浄液が内部に付着したため、トラッキング現象が発生して発煙・発火したものです。



事故防止のために

エアコン洗浄の際には、電源基板やファンモーター等の電気部品にエアコン洗浄液がかからないよう十分に注意してください。誤った方法で内部を洗浄すると、洗浄液が電気部品に付着してトラッキング現象の原因となります。

